

平成23年度横浜市栄区生活支援センター事業報告書

栄区生活支援センター業務は、センター業務を強化するため、センターに来館する利用者中心の支援事業に加え、平成 19 年度から横浜市の委託事業として精神障害者退院促進支援事業を実施、さらに平成 23 年度からは「自立生活アシスタント事業」が加わり、センターを利用できない精神障害者の方々の生活を改善する、いわゆるアウトリーチ事業を開始しました。

そこで、これらの事業を円滑に推進するため、四部門体制【デイサービス、アウトリーチ、地域移行・地域定着支援（退院促進）及び管理部門】を強化し事業の充実、発展に努めました。

また、自治会町内会、民生委員協議会、区役所及び区社会福祉協議会等の関係機関と連携・協働し精神障害者の地域生活を支援すると同時に、うつ、ひきこもり、自殺等の地域が抱える精神保健福祉の問題に積極的に取り組んできました。

1. デイサービス部門

当該部門の基本的な取り組みとして、地域で生活する精神障害者の方々は、他人との交流を通して得られる安心を求めて来館することから、この気持ちを充足できるようにするため、利用者ミーティング、グループカウンセリング、ピアミーティングなどのプログラムを実施するとともに、ピアサポートの雰囲気作りも進めました。その他、昼食会、交流会等を通じて病院との連携を深めました。

またこの部門の取り組みとして重要なのは、地域の方々に生活支援センターに対する理解と協力を得なければなりません。

そこで、地域の方々と一体になって、ひだまり、納涼際、いたちまつり、クリスマス会等を開催し地域住民、関係機関、区内福祉施設及び団体等の連携強化に努め一定の成果を上げることができました。

2. アウトリーチ部門（自立生活アシスタント事業）

本事業は、本年度から新たにセンター業務に加えられ、専任職員及び担当職員を配置、円滑な事業の推進に努めました。

（1）自立生活アシスタント事業は、25 名を限度として支援することとなっていますが、

平成 24 年 3 月 31 日現在、契約者 11 名、契約に向け相談中 3 名の合計 14 名となっています。

また、アウトリーチ事業とはセンターの発展的な機能を開拓するためのものであり精神障害者を含めた精神保健福祉の問題に対するアフターケアからプリケアへの転換をも目指しています。

まずは地域に潜む精神保健福祉の課題の把握のため、以下のことに取り組みました。

ア、区福のMSとの連携。生活教室を共に行った。

イ 地域支援事業の実施。SST 講座の開催。

地区センター、地域ケアプラザ、区民利用施設等を利用し、SST 講座、地域支え合い講座の開催。

春の新緑ウォーキング、バーベキュー大会を実施。利用者同士のコミュニケーションを図ると共に、協力ボランティアの方々を通じて地域の方々との交流を図った。

ウ 区民支え合い講座

豊田地区民生委員を中心として支え合い連絡会「要援助者ネットワーク委員会」及び豊田地域ケアプラザの協力を得て「うつ講座」を開催した。

- ・ 日時 平成 24 年 3 月 4 日(日) 13:30～16:00 会場 横浜市豊田地域ケアプラザ
参加者 51 名

- ・ 内容 「うつ病の理解と関わりについて」

- 1 講演「上手な精神科のかかり方」講師 神奈川県こども医療センター精神科医
藤田純一先生

- 2 講演「体験談」 うつの家族の会 みなと 砂田くにえ先生

エ、近隣学校との交流。養護教諭からの生徒の精神不安定についての相談。

オ. 地域ケアプラザとの連携。2箇所のケアプラザにおいて、精神病、精神障害をテーマとした啓発事業を実施。ケアプラザでこころの健康相談。ケアプラザにおけるカンファレンスに、センター職員出席。

3. 地域移行・地域定着支援事業部門(退院促進援助)

本事業は、昨年まで委託事業としてセンターと医療機関との連携機能を模索するため実施してきたものであるが、本年度からセンター業務として本格実施となった。職員もコーディネーター及び担当職員を配置、円滑な事業の推進に努めました。

今年度実績は、平成 24 年 3 月 31 日現在支援者 6 名待、退院後のフォロー 1 名となっています。

本事業は、病院との関係、地域住民との関わり、とりわけ住居問題は深刻であり今後の大きな課題になるとおもわれます。

A. 関係機関との連絡調整、施設管理等報告

1. <運営連絡会議>

第1回 平成23年7月22日(金)午後2時00分～ 出席数13名

議題 (1)平成 22 年度事業報告について

(2)平成 23 年度事業計画(案)について

(3)栄区生活支援センター運営連絡会規約(案)について

(4)新規事業(自アシ及び地域移行・定着支援事業)説明

(5)その他

第2回 平成24年3月2日(金)午後3時00分～ 出席数14名

- 議題 (1)平成 23 年度事業報告について
(2)平成 24 年度事業計画(案)について
(3)栄区生活支援センター運営連絡会規約(案)について
(4)栄区生活支援センター利用上の注意事項について
(5)その他

2. <外部との会議>

○運営委員会関係

- ・みちくさみち理事会 1回
- ・すぺーすもも運営連絡会 4回
- ・サポート径運営委員会 2回

○栄区障害者等ネットワーク担当者会議

- ・ネットワーク連絡会幹事会 4回
- ・実務者連絡会 6回
- ・栄区地域部会 11回
- ・地域部会事務局会議 10回

○横浜市生活支援センター連絡会

- ・センター連絡会 研修委員会 2回
- ・センター連絡会 全体会 3回

○退院促進関係

- ・退院促進協議部会 12回
- ・退院促進連絡会 4回
- ・芹香病院院内研修 3回
- ・丘の上病院院内研修 1回

○法人関係

- ・法人理事会 3回
- ・施設長会議 11回
- ・研修委員会 3回
- ・処遇改善委員会 9回
- ・広報委員会 3回

○家族関係

- ・さかえ会(家族会) 8回

○栄区生活支援センター内部

- ・係会議 10回

○市関係	
・施設長会議	3回
・予算説明会	1回
○市精連関係	
・市精連総会	1回
・市精連研修会議	1回
・市精連アウトリーチ研修	1回
・市精連スタッフ会議	6回
○栄区関係	
・栄区福祉保健センター打ち合わせ	11回
・地域活動ホーム「径」打ち合わせ	1回
・後見的支援打ち合わせ	1回
・栄区社協専門機関部会	1回
・栄区社会福祉大会	1回
・栄区新年会	1回
・障害者キャンペーン説明会話し合い	2回
・小菅ヶ谷運動会	1回
・社会を明るくする運動	1回
・バリアフリー会議	2回
・小菅ヶ谷つながるプラン	4回
・豊田ケアプラうつ講座	1回
○こころの電話相談関係	
・こころの電話相談関係機関連絡会	2回
○ イベント実行委員会等	
・納涼祭実行委員会	4回
・クリスマス会実行委員	4回
・世代交流サロン ひだまり	11回
・世代交流サロン ひだまり実行委員会	11回
・いたちまつり実行委員会	6回
・ようこそであい広場実行委員会	5回
・フレンドシップ杯実行委員会	3回
・ケアブラ打ち合わせ	3回

3. <研修等>

・指定管理者研修	参加職員	1名
・栄区内施設合同研修	参加職員	2名

・栄区各種団体研修会	参加職員	1名
・サポート径研修	参加職員	2名
・衛生管理講習	参加職員	2名
・市精連(新人研修)	参加職員	2名
・センター連絡会 新人研修	参加職員	1名
・内部研修(葉の話)	参加職員	11名
・内部研修(接遇)	参加職員	10名
・法人研修	参加職員	11名
・法人新人研修	参加職員	1名

4. <防災訓練>

第1回 自衛消防訓練実施

平成23年9月7日(水)午前13時30分～14時30分

地域ケアプラザ2階栄区生活支援センター調理室付近から出火を想定

訓練内容

- 1)通報・連絡訓練(非常用放送設備・複合火災受信機の確認操作・
館内非常放送・119番通報など)
- 2)初期消火訓練(火災放機・消火器・排煙装置設置場所の確認・
初期消化訓練等)
- 3)避難・誘導訓練(非常口・避難経路の確認・2階非常口の開錠等)
- 4)応急・救護訓練(負傷者への応急処置等)

第2回 自衛消防訓練実施

平成23年 3月26日(月)午後13時30分～2時30分

地域ケアプラザ1階厨房付近から出火を想定

訓練内容

- 1)通報・連絡訓練(非常用放送設備・複合火災受信機の確認操作・
館内非常放送・119番通報など)
- 2)初期消火訓練(火災放機・消火器・排煙装置設置場所の確認・
初期消化訓練等)
- 3)避難・誘導訓練(非常口・避難経路の確認・2階非常口の開錠等)
- 4)応急・救護訓練(負傷者への応急処置等)

平成23年度 横浜市栄区生活支援センター指定管理料精算書

(自 平成23年4月1日 ～ 至 平成24年3月31日)

(単位:円)

区 分		予算額	決算額	差引増減	備考
1 人件費		53,296,000	47,647,615	5,648,385	
	(1)職員人件費	40,963,000	39,092,564	1,870,436	
	所長	4,246,000	4,158,190	87,810	1名 (別紙参照)
	常勤職員	28,290,000	26,720,649	1,569,351	6名 (別紙参照)
	非常勤職員	8,427,000	8,213,725	213,275	別紙参照
	(2)法定福利費	6,541,000	5,652,218	888,782	社保事業主負担分, 中退金(別紙参照), 労働保険料 273,319円
	(3)労務厚生費		141,555	△ 141,555	健康診断80,055・ハマフレンド61, 500
	(4)嘱託医賃金	1,068,000	755,548	312,452	別紙参照
	(5)アルバイト賃金(調理)	2,179,000	2,005,730	173,270	5名 (別紙参照)
	(6)アルバイト賃金	2,545,000	0	2,545,000	5名 (別紙参照)
2 施設管理費		5,630,000	5,354,952	275,048	
	(1)光熱水費	3,400,000	3,145,126	254,874	電気、ガス、水道料金 (別紙参照)
	(2)庁舎管理その他委託費	2,100,000	2,009,826	90,174	電気工作物清掃、建物定期点検、埴栽、雨水桝清掃 (別紙参照)
	(3)修繕積立金	200,000	200,000	0	大規模修繕積立金
3 事業運営費		4,394,000	5,113,589	△ 719,589	
	(1)旅費	700,000	296,420	403,580	出張旅費
	(2)一般物品費	500,000	623,455	△ 123,455	事務用品123,428、日用品94,449、新聞代76,320、書籍14,450、その他52,538
	(3)印刷製本費	120,000	62,881	57,119	印刷機原紙
	(4)修繕費	400,000	669,633	△ 269,633	ファンコイル修繕38,850、洗濯機修理11,760」椅子張替修理384,500、照明修理30870
	(5)通信運搬費	350,000	515,124	△ 165,124	郵送料57,490、センター便り発想59,810、切手・はがき33,010 ケーブルテレビ 70,560その他電話代等
	(7)借料損費	1,000,000	1,056,029	△ 56,029	車リース516,000、コピー機・パソコンリース332,120、マットリース 19,110、その他会議室使用料54,000
	(8)備品等購入費	450,000	650,757	△ 200,757	テレビ2台135,320. ブラインド43,182、冷蔵庫41,205、その他
	(9)施設賠償保険	174,000	86,460	87,540	賠償責任保険加入料
	(10)雑費	700,000	1,152,830	△ 452,830	バーベキュー式19,160、新聞代76,320、参加費30,000、カウンセラー等謝金324,994、
4 入浴・洗濯サービス実費					入浴・洗濯: 68,700(@100×687名) 印刷: 14,766(173名)
徴収額 光熱水費充当分		△70,000	△83, 466		
5 本部繰入金		2,820,000	3,060,000	△ 240,000	
小 計		66,140,000	61,092,690	5,047,310	
合 計		66,140,000	61,092,690	5,047,310	